

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？ パート10、

新型コロナのお話をする前に、一言追加しておくことがあります。最近、子供を守るべき小学校教諭や保育園保育士が生徒にいじめ行為や虐待をしているというニュースが複数ありました（滋賀野洲：小2児童へのいじめ、静岡裾野：保育園一歳児虐待、大阪：小1児童の背中に反省文を貼り付け校内を歩かせた等）。

こういう人は教師の資質があるとは思えません、職業を変えた方が良く、園長が口止めをしたというのには更に驚きました。私たち介護の仕事も殆どの方々がその資質を持っていると思いますが、万が一そのようなことがあった場合にはお互いに指摘しあうことがお互いの利益になりますので、そこははき違えないように致しましょう。私が間違っている場合もあるかもしれませんが。その時は遠慮なく指摘していただきたいので是非よろしく願いいたします。

今回の第8波については、政府の明確な宣言はありませんが11月上旬頃より兆候が出始めて月末には第8波と言って良いような状況に既に入っております。群馬県の警戒度も11月26日より警戒度1から2に上がっており、一羊館の警戒度レベルもそれに合わせて今は「2」になっております。

しかし、初期の頃の重症化リスクの悲壮感はなくなり、現在は重症化率が低下してきており、実際に毒性も低下してきております。

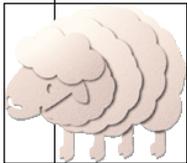
今回の波はどうなるのか、まだ分かりませんが、私達のやり方は先月も申し上げましたがほぼ固まってきているので、これまで通り、粛々とこれまで通りの現実路線を歩んでいけば間違いありません。

但し、油断しても良いというわけではありませんので、これまでのノウハウを忘れずに、症状があってもなくても、気になることがあれば互いに遠慮することなく同僚・上司とのホウ・レン・ソウを守ること、そして症状等の心配があれば遠慮することなく勤務を休むこと、お互い様という姿勢で譲り合うこと、これらがポイントになります。

スタッフ皆さんの、臨機応変・柔軟な対応、が試される時期に入っております。

しつこく同じことを言っておりますが、感染予防対策の基本は、いつも言うような下記です。

- 1, これまでの予防対策の基本（マスク・換気・黙食・手指消毒等）を守っていればまず感染しませんし、万一本人が感染したとしても、他人に感染させる心配はないことが分かっています。
- 2, 周りに感染者があふれていますので県外移動云々は意味ありません。不特定多数と接触する場合、友人でも久しぶりに会う場合、これを意識することです。この場合には「2日ルール」、「3日ルール」、「5日ルール」のどれかをリスクに応じて適用することになりますので同僚・上司へのホウ・レン・ソウが必須です。

老人保健施設一羊館の理念	
利用者の方々すべてに 尊厳・安心・満足 を！	
一羊館の行動指針	
私たちは、 保健・医療・福祉の架け橋のプロ に徹します。	
私たちは、 利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立 を目指します。	
私たちは、 質向上のために日々の小さな工夫 を忘れません。	
	
話し合いの3原則：	
①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。	
②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。	
③正解は一つではないことを自覚して自制します。	